



生徒と創る学びの情景

多様な学び舎で、理解と共感を

北海道静内農業高校 廣谷 玲先生



農作物の生産や乳牛の飼育管理、そして日本唯一の軽種馬生産など、多様な学びを展開する静内農業高校には道内外から生徒が集まる。異なる背景を持つ生徒たちに家庭科担当の廣谷先生は「理解と共感を大切にしよう」と伝えている。「授業において生徒が自分の家庭の考え方を話す場面が少なからずありますが、それぞれ違うのは当然で、正解はありません。自分とは異なる意見も1つの考え方として受け入れ、共感する。その大切さと難しさを学んでほしいのです」と語る。

先生自身、進路指導部長として、理解と共感を胸に生徒と向き合う。全校生徒の進路希望調査に目を通した上で生徒に頻繁に声をかけ、その会話から内面をくみ取り、生徒の可能性を広げる選択肢を調べて生徒や担任に情報を届ける。『これでいいや』ではなく、『これがやりたい』と納得して選ぶ。それが卒業後も自分の足で歩いていける確かな自信になります」と廣谷先生。農業を志す生徒は『『スマート農業も面白そう』と漏らしたら、先生が新設の学科を教えてくださいました。その学科を調べるうちに、学びたい学問や将来像が一層明確になり、志望学科を決めることができました』と語る。先生の理解と共感も力にして、生徒は前に進んでいく。

ひろたに・れい 同校に赴任して6年目。進路指導部長。家庭科。

北海道静内農業高校 1978(昭和53)年設立/全日制/食品科学科、生産科学科/共学/1学年約50人/2025年度卒業生進路実績 国公立大は、帯広畜産大に2人が合格。私立大は、北翔大、酪農学園大、東京農業大、京都産業大などに延べ11人が合格。短大・専門学校進学7人。就職22人。

「VIEWnext」高校版に関するお問い合わせは

お客様サービスセンター

右記の2次元コード、または下記URLから
お問い合わせフォームにアクセスいただき、お問い合わせください。

<https://benesse-hs.jp/nm2gq>

